

統計資料では、平均月額工賃の中央値が12,238円とあり、就労環境が保持し難い現場では以前よりも報酬が下がった事業所が多数ある可能性があります。

次に国立重度知的障害者総合施設のぞみの園の岡田様より、就労継続B型と生活介護の事業と支援のあり方についての研究報告がありました。

その中で、今後生活介護・就労継続B型の利用者が高齢になると、一定の就労が困難な状態になり、余暇時間の減少、地域参加への難しさなど、事業所としての在り方に様々な課題が出てくると予想されていました。この事については、次に行われたシンポジウムで多様な意見を拝聴することができ、今後に影響を受ける事業所が多数存在する事が伺えました。

また、支援サービスの質に対する研究報告からは様々なニーズに対応していく指標となる自己点検チェックのガイドラインについての説明があり、活用する事で統一した支援基盤を持ち、より良い環境づくりやサービス提供に繋がるのではないかと思います。

次のシンポジウムでは、NPO法人トータルケアセンターの安間代表理事の「工賃のみを重視するのではなく、皆の幸せを願い、就労のサービスを提供していく」という理念や、社会福祉法人めやす箱の岩月理事長が「工賃向上よりも利用者のステップアップの場の提供を考えながら運営してきた」とお話されたように、就労の結果や工賃向上も重要ですが、支援サービスの質の向上がより良い環境を作り出し、結果として職場定着や作業効率が上がる事に繋がるため、目に見える指標のみに捉われず、全ての根底には、繰り返しますが支援サービスの質の向上が大きく関わっている事が再認識する事ができました。

先にも挙げた通り行政改定によって生まれる新たな課題や意見などを今大会において沢山の方と共有し、学び合う事ができ大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。

【全国事業所協議会 全国研修大会 静岡大会にて】



令和元年度 第2回 大阪市手をつなぐ育成会 法人全体研修会が開催されました

港育成園 副主任 山本 仁

令和2年1月31日(金)に大阪市立社会福祉センターにおいて法人全体研修会が開催されました。今回は昨年度に引き続き実践報告研修ということで、東成育成園、港第二育成園、ワークスいけじま、福島育成園の4施設から発表がありました。発表者は次の通りです。

①東成育成園/足立智宣 ②港第二育成園/甲斐将希・寺口実佳 ③ワークスいけじま/甲斐雅乃 ④福島育成園/岡島秀樹 (敬称略)

【実践報告研修会風景 その1】



第一発表者の東成育成園は、現在利用されている方の過去から現在における様子についての報告でした。この事例の対象の方については私もよく存じており、東成育成園に勤務していた頃に直接携わったことがありました。私が携わった期間から10年近く経ちますが、その期間にも色々な出来事がありました。その時々に対してスタッフはどのように対応すれば利用者の皆さんに安定した日々を送っていただけるのか、医療や家族との情報交換などを繰り返し行っていたことを思い出しました。

第二発表者の港第二育成園からは、施設が行っているサービスの概要などが報告されました。自分が勤務している以外の施設について、現在勤務している職員からの現状報告には興味があり、また、私が十数年前に勤務していた状況との違いについても、どのように変わっているか気になっていました。

私が勤務していた頃とはサービスの形態も変わりましたが、現在勤務している港育成園から見る港第二育成園の第一作業室は当時の様子を思い出します。あの頃は利用者の皆さんが「就職」、という明確な目標をもってエネルギーに過ごされていたように思います。